

市花いっぱい運動推進協 市長賞ほか各賞を決定

平成20年度北秋田市花だんコンクール



市長賞を受賞した大阿仁小学校の花壇

今年も丹精を込めた個性豊かな花だんが審査員を喜ばせました

体(の部)=高村岱老人クラブ・栄婦人会・鷹巣南小学校
花いっぱい運動推進協議会長賞(団体の部)=比内養護学校たかのす分校・田中自治会・脇神悠遊クラブ 努力賞=沢口老人クラブ連合会、七日市本郷自治会、糠沢快老クラブ 奨励賞=糠沢子ども会・滝沢一次(脇神)・櫻井正一(下杉)

学びの広場

公民館活動 生涯学習
文化振興 学校 スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

北秋田市花いっぱい運動推進協議会(松岡福太郎会長)では、9月17日、平成20年度北秋田市花だんコンクールの現地審査を行いました。

今年度は老人クラブ、自治会、学校など14団体と家庭の部4人が応募。当日は審査委員会(松岡誠三委員長)の委員が現地で花だんの設計、管理、推進方法等を総合的に審査し、各賞を決定しました。

審査時に立ち会った応募者は審査員から管理方法などについて指導を受けていました。各受賞者は次のとおりです。なお、表彰式は10月24日に行われます。

市長賞/団体の部=大阿仁小学校/家庭の部=松尾フミ(栄) 市議会議長賞/団体の部=鷹巣南中学校/家庭の部=春日幸子(米内沢) 教育長賞(団体の部)=堂ヶ岱老人クラブ・栄摩当婦人会 中央公民館長賞(団

懐かしい音色でアンサンブル

森吉公民館「リコーダーを楽しむ会」

森吉公民館では9月と10月、4回にわたって「リコーダーを楽しむ会」を開催しました。

受講生は少人数ですが、子どもたちが小・中学生の時に使用した家庭で眠っているリコーダーを利用して、リコーダーの基本的な奏法とアンサンブルができるよう一生懸命練習をしました。

初めは指の押さえ方や息の使い方に戸惑っていましたが、基本を振り返りながら懐かしい音色を楽しんでいました。



懐かしい響きの「リコーダー」でアンサンブルを楽しみました

でいました。

楽しいバルーンアート教室
あなたもバルーンアートの達人に

期日 11月19日(水)
時間 午前10時~正午
場所 森吉コミュニティセンター
講師 大川龍也さん
内容 細長い風船を使って動物などの作品を作ります
参加費 千円程度(風船・ポンプ代等)
定員 15人 持ち物 はさみ
申込期限 11月10日(月) 定員になり次第締め切らせていただきます
申込み・問合せ 森吉コミュニティセンター ☎72-3259

健康講座「がん哲学外来」

がんになっても、がんで死なない

日時 10月19日(日)午後2時~
場所 阿仁公民館
(ふるさと文化センター)
内容 健康講座「がん哲学外来」他
講師 樋野興夫氏(順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授)
入場料 無料
問合せ 阿仁公民館 ☎82-2220

公民館公開講座「先人に学ぶ」第3回

日本の音楽史を作った郷土の先人

『聴いて』学べる音楽博物館「浜辺の歌音楽館」

成田為三を学ぶ

公民館公開講座「先人に学ぶ」の第3回講座が9月29日、浜辺の歌音楽館で開かれ、約50人の受講生が、浜辺の歌の作曲家として知られている郷土の先人・成田為三をテーマとした講演を聴講しました。

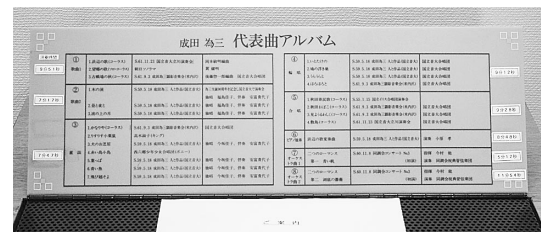
第3回目の講座では、浜辺の歌音楽館の役割と題し、同音楽館・終身名誉館長の後藤惣一郎さんが音楽館を建設した経緯や音楽館の機能などについて語りました。

音楽館は、旧森吉町が郷土の生んだ偉人・成田為三の顕彰と音楽のまちづくりを目指して昭和63年に建設した施設で、為三の写真や遺品などが展示されているほか、「浜辺の歌」はもろろん、管弦楽曲二つのロマンスなどの代表作や日本の代表的な歌曲が聴けるリスニングルームが備えられ、為三の業績を体系的に学べるようになっています。

為三は昭和20年に亡くなりますが、死後、後藤さんを中心に顕彰活動が、



1階のリスニングルーム



為三の代表曲、日本の唱歌などが聴けるリスニングルーム(写真中)と代表曲を紹介するプレート(下)

この結果、建設への重要な基礎条件が整い、町では62年11月に音楽館

最後に後藤さんは、為三は師である山田耕柝や愛弟子・岡本敏明氏によつて掘り起こされ、また孫弟子ともいえる小山章三氏によつて引き継がれて今日に至っている。そしてその結果がこの浜辺の歌音楽館であることをぜひ知ってほしい」と語っていました。